



(C)Stefan Benko (Common Crane *Grus grus*
クロヅルがアルメニアの今年の鳥に選ばれました。

バードライフ・ニュース概要

2010年1月27日

クロヅルがアルメニアの今年の鳥に

ASPB(アルメニアのバードライフ・パートナー)と有名な子供向け雑誌の LOLO が行った投票の結果、クロヅルがアルメニアの今年の鳥に選ばれました。クロヅルは同国では極めて稀な鳥で、アルメニア南部および南西部の地方でのみ繁殖し、その個体群は危険な状態にあるのです。

オーデュボン・カリフォルニアが生息地保護の範囲を拡大

カーン郡の重要野鳥生息地を引き続き保護してゆく活動の一環として、オーデュボン・カリフォルニア(米国のパートナー)がケルソ川沿いの120ヘクタールの土地を購入しました。この購入によりオーデュボン・カリフォルニアが過去12ヶ月にケルソ側流域で買い上げた土地は合計240ヘクタールを超えました。この地域はモウハービ砂漠から南部シエラ・ネバダに渡るワシ・タカ類、ハゲワシ類、鳴禽類などの重要な渡りのルートにあります。土地は乾燥していますが川岸にはヤナギが生えた環境で、シロハラシマアカゲラやオオムジツグミモドキなど多くの鳥にとって重要な場所です。

インドチャイナの Babbler 誌から情報を得てください

バードライフのインドチャイナ・プログラムの最新ニュースは全て Babbler 誌の第32号から入手が出来ます。インターネットのホームページも利用でき、種についてのニュースやバードライフのインドチャイナにおける CEPF(重要生態系保全基金) 地域実行チームの活動の特集が掲載されています。詳しくは本部のホームページをご覧ください。

米国渡り鳥条約法の実施

2つの別個の事件で、エクソン・モービル社とパシフィック社がワシや他の渡り鳥を殺してしまったという有罪判決を認め、罰金が保護を支援するために使われることとなります。エクソン・モービル社は2004年から2009年の間に5つの州で85羽の鳥がふたの開いたオイルタンクなどに入り込み死んでしまうことを防止するのを怠ったとして有罪となりました。同社は罰金として60万ドル(約5400万円)の他に、鳥への被害を今後防ぐために設備を改善する費用として250万ドル(約2億2500万円)の支出を行うこととなります。一方、パシフィック社は2007年から2009年の間に232羽のイヌワシや他の鳥を電線で感電死させたとして有罪を認めました。同社は罰金と弁償金として141万ドル(約1億2700万円)と、今後、渡り鳥を感電死から守るために設備の補修や交換のために910万ドル(約8億2千万円)を支出することに同意しました。罰金は野鳥保護団体に資金として分配される予定です。